

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております！

++ CONTENTS ++

- 【1】青銀会理事リレーエッセイ 第5回 理事 野川 裕記
- 【2】特別賛助会員・賛助会員様主催イベントのご紹介
- 【3】青銀会第5回大会のお知らせ
- 【4】学生会AzのVB訪問記
- 【5】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

【1】青銀会理事リレーエッセイ 5回 寄稿:理事 野川 裕記

青い銀杏の会会員の皆様、いつも大変お世話になっております。
本会の理事をさせて頂いております株式会社セキュアウェアの野川裕記と申します。

今回のリレーエッセイは、青い銀杏の会の中でも特に学生会員に向けたメッセージとしたいと思います。といいますのも、学生時代(大学院時代を含む)の過ごし方が、その後の過ごし方を決めることになるのを私自身がよく知っているからです。

私は、学部学生時代を豊中キャンパスと中之島キャンパス(昔は医学部と付属病院がありました)で過ごし、大学院時代を吹田キャンパスで過ごしました。大学院修了後は、札幌医科大学で働いた後、吹田キャンパスへ戻り、今は、(株)セキュアウェアの取締役をしながら、東京医科歯科大学の客員教授をしています。このように、郊外(豊中)→中心部(中之島)→郊外(吹田)→中心部(札幌市中央区)→郊外(吹田)→中心部(東京都文京区湯島)と、郊外と中心部を互いに渡りあっていたことになります。そのなかで、いろいろな学生に出会い、「ベンチャースピリット」あるいは「チャレンジ精神」を涵養するにはどうしたらいいのか、と考えてまいりました。ここで、私の考えを披露させていただければ、と思います。

1 町へ出よう

吹田キャンパスは、広大で緑豊かなキャンパスです。それに比べ、中之島キャンパスは緑もすくなく、建物もボロボロでした(吹田キャンパスへの移転が決まっていたので、補修等が行われなかったからです)。しかし、私はこの2つの両極端なキャンパスを両方体験した経験から、人作りには中之島キャンパスのほうが良かった、と考えています。

というのも、中之島キャンパスは交通の便利な所にあった(大阪市内としては辺鄙と言われているが、それでも20分も歩けば梅田に出られる)ので、人に来て頂くにも自分が出て行くにも便利でした。おかげで、キャンパスにこもって出て来ない、ということはありませんでした。研究室に出入りするようになると、突然、スタッフの先生から「どこか行くか？」とお声がかかり、そのまま飲みに行くこともめずらしくありませんでした。こうやって、濃密な人間関係の中で生きることを学びました。そして、「こんな生き方もある」ということを聞いて学んだのです。その中には、学生時代から会社を作った先輩方々の話を、直接に聞かせていただくこともありました。

吹田キャンパスにいる学生会員の皆さんには、キャンパスに籠っていないで、町中に積極的に出ることを強く勧めます。

2 全く専門の違う人と話をしよう

実は、上の「町へ出よう」とまったく同じ事なのですが、町中でいろいろな人と出会い、話をするようになると、当然、全く専門の違う人と話をするようになります。そのときに、「私の専門ではないから、知りません」と答えるか、あるいは「なんですかそれ？教えてくださいませんか？」と答えるかで、後が大きい

青い銀杏の会には、いろいろな分野の方がおられます。その分野の第1線の研究者をはじめ、実際にベンチャー企業経営に携わっている方々や、ベンチャーキャピタリストの方などがおられます。学生会員にとっては、それこそ「生きた手本」が目の前にいますので、ぜひとも、そこから学び取って頂きたいと思います。そのときには、私も喜んでお手伝いさせていただきたいと考えています。

(株)セキュアウェア 取締役 野川裕記(nogawa@secure-ware.com)

+++++=====

+++++-----

会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願い致します。

+++++-----

平成17年2月に、大阪大学発ベンチャー間の交流、ならびに産業界と大阪大学との産学連携をより活性化させるために、任意団体「青い銀杏の会」(通称:青銀会)を設立致しました。

青銀会は平成18年度6月をもちまして、特定非営利活動法人として新たに発足し、大学発ベンチャーの支援機関として、大阪大学という枠に捕らわれず、産学官連携支援活動をより活性化するために活動しております。

大会では、有識者による特別講演や研究者による新規研究内容発表、会員企業様の発表の場を設けさせていただきます。また、第5回大会終了後、会員の皆様のご交流の場として懇親会も開催致しますので、この機会に大会だけでなく懇親会にも是非ともご参加賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

-

青い銀杏の会 第5回大会プログラム

[大会テーマ:大学発ベンチャーの連携強化]

<http://www.osaka-u.com/event/20070621-Taikai/Annaif.html>

~

【開催日時】 平成19年6月21日(木)13:00～20:00

【開催場所】 大阪大学 吹田キャンパス 銀杏会館3階

★SORSTジョイントシンポジウム
～『ナノで展開する新機能材料とテクノロジー』～

- 会 期:2007年6月19日(火)、6月20日(水) 10:00～
- 会 場:コクヨホール(東京・品川)
- 参加費:無料(研究交流会参加希望者は3,000円)
- 定 員:300名
- 詳 細:下記URL参照(pdf形式、2.6MB)
<http://www.jst.go.jp/kisoken/sorst/sympo/joint7.pdf>

▼△▼△

★『東北大学 新技術説明会』
～ナノメカニクスが拓く機能創製と制御～

- 会 期:2007年6月8日(金) 10:00～16:55(18:00まで情報交換会)
- 会 場:科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)
- 参加費:無料(事前登録制、情報交換会は1000円)
- 定 員:各発表130名
- 詳 細:<http://jstshingi.jp/tohoku/>

▼△▼△

★『静岡大学との連携による新技術説明会』

- 会 期:2007年6月1日(金) 10:00～17:00
- 会 場:科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)
- 参加費:無料(事前登録制)
- 定 員:各発表130名
- 詳 細:<http://jstshingi.jp/shizuoka/>

▼△▼△

★「平成19年度第1回事業化助成金」募集のご案内

事業化助成金は、優れた技術シーズ・ビジネスアイデアはあるものの、新事業開拓に取り組むことが困難な状況にある創業者又は中小企業に対して、資金面での助成とともにビジネスプランの具体化・販路開拓等に向けたコンサルティングを実施し事業化を支援するものです。

- 公募期間:2007年5月9日(水)～6月8日(金)
- 助成対象:創業者、個人事業者、中小企業者、企業組合、協業組合
- 募集要項:<http://www.smrj.go.jp/venture/grant/021538.html>
- お問い合わせ先:
中小企業基盤整備機構 新事業支援部 資金助成室
tel 03-5470-1539
東京都港区虎ノ門3-5-1虎ノ門37森ビル

▼△▼△

★「平成19年度産業技術フェローシップ事業」公募のご案内

- 公募期間:2007年5月16日(水)～6月14日(木)
- 必要書類(公募要項等):下記URL参照
http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190516_1/190516_1.html
- お問い合わせ先:
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
研究開発推進部イノベーション産学連携グループ フェローシップチーム
TEL:044-520-5175
FAX:044-520-5177
e-mail:Fellow-Team@nedo.go.jp

▼△▼△

★「イノベーション実用化助成事業」のうち
(大学発 事業創出実用化研究開発事業)に係る研究開発テーマの公募について(平成19年度)

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO技術開発機構)では、「イノベーション実用化助成事業」のうち「大学発事業創出実用化研究開発事業」の平成19年度第1回の公募を行う予定ですのでご案内いたします。本事業は、企業のニーズと大学のシーズをマッチングさせ、産学連携による研究開発あるいは事前調査を行い、研究開発終了後2年以内に実用化を達成できるよう目指すものです。TLO等の技術移転を行う機関(大学等の研究成果を、市場性等の観点から評価・選別し、権利化を行い、民間事業者へ移転する事業を業務として行う機関)および一定の要件を満たす民間事業者が助成の対象です。

■公募時期: 2007年4月9日～6月13日

■公募要領: 下記URL参照

http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/190409_3/190409_3.html

▼△▼△

★『国際フロンティア産業メッセ2007』の出展者募集

21世紀に飛躍する産業の創出を推進するための総合産業見本市「国際フロンティア産業メッセ2007」への出展者を下記のとおり募集しています。

■会 期: 2007年9月13日(木)、9月14日(金) 10:00～17:00

■会 場: 神戸国際展示場3号館(神戸ポートアイランド内)

■申込締切: 2007年6月30日(土)

■出 展 料: Aタイプ(9平米) 157,500円

Bタイプ(5平米) 105,500円、

Cタイプ(3平米) 無料(大学・公的機関のみ)

■詳 細: <http://www.kobefair.com>

▼△▼△

★「知財ビジネスマッチングフェア2007」出展者募集

■会 期: 2007年10月18日(木)～19日(金)

■会 場: インテックス大阪 6号館(予定)

大阪市住之江区南港北1-5-102

■主 催: 特許庁、近畿経済産業局、近畿知財戦略本部

■出 展 料: 無料

■申込締切: 2007年6月20日(水)(必着)

■詳 細: 下記URL参照

http://www.kansai.meti.go.jp/kip-net/event/index.html#chizaifair_2007

▼△▼△

★平成19年度 特許流通講座(基礎編・実務編)受講者募集

特許流通市場へ参加する人材を増加させるための普及啓発として特許流通技術移転に携わる意思のある方を対象に、特許流通、技術移転に関する基礎的な知識・実務能力を習得することを目的としております。特許流通に興味をお持ちの方、中堅・中小企業関係者、技術移転機関関係者及び将来特許流通の場で活躍を希望している大学・大学院等の学生の方々の応募をお待ちしています。

■会 期: 2007年6月19日(火)

■会 場: 石垣記念ホール

■参加費: 無料(教材は実費負担)

■詳 細: <http://www.ryutu.inpit.go.jp/training/index.html>

▼△▼△

★「モノ作り・人作り地域フォーラムIN三重」の開催

■会 期: 2007年6月20日(水) 13:30～16:10

■会 場: 四日市市文化会館第2ホール

■参 加 費: 無料

■定 員: 200名

■応募締切: 2007年6月15日(金)

■詳 細: <http://www.smrj.go.jp/kikou/branch/chubu/022698.html>

～編集後記～

ふと、ある言葉が頭に残るとその後立て続けにその言葉を目にする、耳にするにする、と言う経験は無いでしょうか？

今回のメルマガでは偶然にも、理事エッセイとベンチャービジネス訪問記で“異分野との交流”について触れてあります。

私自身を振り返ってみると今までサークルで他学部・他大学の方と活動したことはあるものの“相手の専門について知る”機会はほとんど無い、と言って良い状態でした。

ですが今では学生部会という場があります。学生であるうちに、この機会を最大限活用しもっと広い視野を、見聞を得ることができたらと思います。

学生部会員がベンチャー訪問記、エッセイ、その他活動で各会員様のお世話になることもあります、ご協力の程、よろしくお願い致します。

(青柳)

-
- 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - 編集: 青い銀杏の会 学生部会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
 - メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
 - Copyright (c) 2007 青い銀杏の会. All rights reserved.